

《最新記事》見出し

国際線航空券が**値下がり**傾向(trvlwire.0118)

- ・ 座席供給量の回復「異常値が正常化」

訪日客 2023 年「4 年ぶり 2500 万人超え」**8 割近く回復**(aviationwire.0117)

ルフトハンザは新入 13,000 人を募集 (aerotime.aero.0115)

米国-アジア「**航空券が高騰**」(日経.0113)

- ・ 日本と中国は 3 割上昇

デルタ A350-1000 型 20 機発注(flightglobal.0112)

- ・ 今後数年間で納入予定のナローボディ機 284 機とワイドボディ機 48 機を発注している。

ルフトハンザ「ITA エアウェイズ買収承認のため EU に譲歩案」(aerotime.aero.0109)

- ・ 主要ハブ空港「ミラノ・リナーテ空港(LIN)発着枠」売却提案

フェデックス「**自社機**は高利益貨物」費用削減で他社利用(daily-cargo.1226)

ライアンエア**勝訴**「エールフランス-KLM 国家救済」(aerotime.aero.1220)

スキポール空港 2024 年夏「条件付き」増枠(flightglobal.1222)

- ・ ピーク時の旅客数削減に力を注いでいる

【米系エアライン】

【**アメリカン**】AMR・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

★アメリカン航空「2023 年 8 億 2,200 万ドルの利益計上」(flightglobal.0126)

<https://www.flightglobal.com/airlines/american-upbeat-on-short-haul-business-after-posting-822m-2023-profit/156637.article>

【自動翻訳】

アメリカン航空の 2023 年通期利益は 8 億 2,200 万ドルと、**過去最高の収益**を計上しました。

営業利益は 2023 年にほぼ倍増の 30 億ドルとなり、収益は 1 年間で 8%増の 528 億ドルとなりました。

年間利益は 8 億 2,200 万ドルで、2022 年の 1 億 2,700 万ドルを大幅に改善しています。

決算説明会で、ロバート・イソム最高経営責任者(CEO)は「われわれは歴史的に堅調な事業を運営している」と述べ、効率性とコスト管理の改善を指摘した。

「**旅行需要は旺盛**です」と述べ、**出張のトレンドに「非常に勇気づけられている**」と付け加えました。

- ・ **第 4 四半期**(10-12 月)

営業利益が 6 億 5,600 万ドルに半減し、純利益が 1,900 万ドルに**減少したにもかかわらず**、第 4 四半期の業績と 2024 年の収益ガイダンスはアナリストの**予測を上回り**ました。

- ・ 年間 28 機を受領予定

同社は年間 28 機の航空機を受領する予定で、チーフ・コマーシャル・オフィサーであるヴァス・ラジャ氏は、「**需要は 2024 年に予定されている供給増強に沿って進んでいる**」と述べています。

「現在、私たちは生産能力に見合った収益を上げています。ある時はイールドに左右され、ある時は交通量に左右される」

「年を追うごとに傾向が改善」と見ており、**活動の約 4 分の 3 を占める短距離国内線**について**楽観的**です。

★会社 HP 引用(240125)

- ・ 通期売上高は過去最高の約 530 億ドル。
- ・ 第 4 四半期および通年の純利益(調整後: GAAP 基準)はそれぞれ 1,900 万ドルおよび 8 億 2,200 万ドル
- ・ 純利益:、第 4 四半期 1 億 9,200 万ドル、通期 19 億ドル、
- ・ 営業キャッシュフロー(GAAP 基準)38 億ドル、フリーキャッシュフロー通期で過去最高の 18 億ドル
- ・ 2023 年に総負債 3 を 32 億ドル削減、2025 年の総負債削減目標の 75%以上を達成した(業績)
- ・ 通年で約 530 億ドルという記録的な収益を上げ、第 4 四半期の売上高は 130 億ドルを超えた
- ・ **特別項目**を除いた営業利益率は 5.1%

注: **アメリカン乗組**の新協定批准に **9 億 7900 万ドル**、債務償還関連で 3 億 6200 万ドルの特別項目

【2022/2023 「1-12 月期」 運送実績】

AAL 「1-12 月期」 運送実績	4Q2022	4Q2023 (%)	FY2022	FY2023 (%)
Passenger enplanements(thousands) 搭乗旅客数	50934	53567	199288	210692
Available seat-miles(millions) 有効座席マイル	65962	69773 (+5.8)	260226	277723 (+6.7)
Revenue passenger-miles(millions) 有償旅客マイル	55320	58331 (+5.4)	215624	231926 (+7.6)

【2022/2023 「1-12 月期」 内際旅客収入】

AAL 「1-12 月期」 実績	4Q2022	4Q2023	FY2022	FY2023

Domestic	3186	3266(+80)	11657	13920(+2263)
国内線イールド(セント)	23.50	22.08(-6.1%)	22.03	22.26(+1.1%)
Total International	8945	8744(-201)	32911	34592(+1681)

【2022/2021 年間決算対比】(1-12 月)

《アメリカン航空》(単位: 百万ドル)	4Q2022	4Q2023	FY2022	FY2023
営業収入合計 Total Operating Revenues	13189	13062(-127)	48971	52786(+3815)
(旅客) Passenger	12131	12010	44568	48512
(貨物) Cargo	263	199	1233	812
(その他の収入) other	795	853	3170	3464
営業経費合計 Total Operating Expenses	11806	12406(+606)	47364	49754(+2390)
(燃料等) Aircraft Fuel	3421	3159	13791	12257
(人件費等) Wages, Salaries and benefits	3199	3689	12972	14580
(整備等) Maintenance, materials and repairs	735	875	2684	3265
(販売手数料等) selling expense	484	443	1815	1799
(運航委託費) Regional operating expenses	1006	1101	4064	4325
(減価償却) Depreciation & amortization	492	480	1977	1936
(着陸料/賃料) Landing fees and other rent	649	714	2730	2928
(機材リース) Aircraft rentals	350	338	1395	1369
(特別課金) Special item, net	4	9	193	971
(その他) Other	1385	1519	5422	6006
営業損益 Operating Income	1383	656	1607	3034
運航以外損益 total non-operating expense, net	-372	-624	-1421	-1913
(利子所得) Interest income	110	136	216	591
(支払利息) Interest expense, net	-532	-519	-1962	
(その他) other income, net	50	-247	325	-359
税引前損益 Pre-tax income(loss)	1011	32	186	1121
(所得税) Income tax provision	208	13	59	299
純損益 Net income	803	19	127	822

〈AA 2023「1-12 月期」決算の特徴〉

- ・年度では大幅に前年比で改善だが、第 4 四半期は陰りが見える。
- ・第 4 四半期は前年比、収入がマイナスでプラスだった費用により大幅に利益を減らした。
- ・特に、第 4 四半期は国際線の収入減が影響している。

★2023 年 10 月 19 日(会社 HP 引用)

【DeepL 翻訳】

- ・第 3 四半期の売上高は過去最高の約 135 億ドル。
- ・第 3 四半期純損失は 5 億 4,500 万ドル。
(特別項目を控除後の第 3 四半期の純利益は 2 億 6,300 万ドル)
- ・第 3 四半期末の流動性総額は約 135 億ドル。
- ・第 3 四半期に負債総額を 14 億ドル削減。

【2022/2023 決算対比】(1-9 月) 注: 1 ドル 149.84 円(2023.10.20)

《アメリカン航空》(単位: 百万ドル)	2022/7-9	2023/7-9	2022/1-9	2023/1-9
営業収入合計 Total Operating Revenues	13462	13482	35783	39726
Passenger	12396	12421	32438	36502
Cargo	279	193	970	613
営業経費合計 Total Operating Expenses	12532	13705	35558	37348
(燃料等) Aircraft Fuel	3847	3209	10369	9098
(人件費等) Wages, Salaries and benefits	3384	3974	9773	10891
Regional expenses: 地域航空	1093	1089	3058	3224
Maintenance, materials and repairs	685	870	1949	2389
Selling expenses	495	430	1331	1357
Special items, net 特別項目	37	949	189	962
Other	1362	1531	4037	4487
Depreciation and amortization	491	487	1486	1456
営業損益 Operating Income	930	-223	225	2378
税引前損益 Income before income taxes	658	-690	-824	1089
(所得税) Income tax provision	175	-145	-148	286

純損益 Net income	483	-545	-676	803
----------------	-----	------	------	-----

注：特別項目 (Special items)

- ・主要路線パイロットとの新しい労働協約の批准に起因する一時的費用 **9 億 8300 万ドル** (7 億 5,400 万ドルの一時金、および 2 億 2,900 万ドルの福利厚生関連項目)
 - ・債務償還費用および株式投資の**時価評価**による損失の特別項目 1 億 100 万ドル
 - ・2022 年には A330 退役に関する減損費用があった
- 〈AAL 2023 年度(1-9 月)決算の特徴〉
- ・前年比 ASM(供給)は 7-9 月期+7%、1-9 月期+7%で、RPM(需要)は+5%及び+7%だった。
 - ・1-9 月期には特別費用が前年 1 億 8900 万ドル、今年 9 億 6200 万ドルが計上されている。
- 特別項目を除いた両年 1-9 月期の純損益の比較では、前年比 22 億 5200 万ドルの改善となる。

【「1-9 月期」運送実績】

AAL「1-9 月期」運送実績(mainline)	2022/7-9	2023/7-9	2022/1-9	2023/1-9
Available seat-miles(millions)有効座席マイル	68567	73285	194264	207950
Revenue passenger-miles(millions)有償旅客マイル	58499	61561	160305	171595
Passenger load factor (percent)	85.3	84.0	82.5	83.5

(1.5/10)

【ユナイテッド】UAL

ユナイテッド第 4 四半期「利益 28%減」費用 15%増(flightglobal.0123)

<https://www.flightglobal.com/strategy/united-posts-28-lower-fourth-quarter-profit-as-expenses-rise-almost-15/156584.article>

【自動翻訳】

・**通年利益 26 億ドルに増加**(前年実績 7 億 3,700 万ドル)

ユナイテッド航空は 2023 年第 4 四半期に 6 億ドルの利益を計上し、給与や維持費などの**費用が増加**したため、前年同期比で約 3 分の 1 減少しました。

特別費用、投資の含み損、調整に伴う法人税の優遇措置を除外した調整後の利益は 6 億 6,400 万ドルで、昨年の 8 億 1,100 万ドルから 18%減少しました。

通年の利益が 2022 年の 7 億 3,700 万ドルから 26 億ドルに増加した。

調整後通期利益は 33 億ドルでした。

通期の調整後 EPS(earning per share)は 10.05 ドルで、経営陣が 2023 年初頭に設定した 10-12 ドルの目標内に収まりました。

「私たちの計画は 2023 年に本当にまとまりました」とユナイテッド航空スコット・カービー最高経営責任者は言います。

「予測不可能な逆風にもかかわらず、私たちはほとんど不可能だと思っていた**野心的な EPS(1 株あたり利益)目標を達成**し、お客様のために新しい運用記録を打ち立てました」

「今後も、こうした傾向は続くと思っており、ユナイテッドはこうした傾向を活用し、短期的および長期的な財務目標を達成する上で非常に有利な立場にあります」と言います。

第 4 四半期の売上高は、2022 年比で約 10%増の 136 億ドルとなりました。

四半期ごとの利益の減少は、給与コストの 28%増や維持費の増加など、費用の増加に起因しています。

第 4 四半期の費用は 126 億ドルで、前年同期比 14.6%増となりました。

通年の売上高は 537 億ドルに増加し、昨年の 450 億ドルから約 20%増加しました。

今年の最終四半期には、2022 年第 4 四半期と比較して有効座席マイル(供給量)が 14.7%増加し、通年では 17.5%増加しました。

当四半期のロードファクターは、前年同期の 85.2%から 82.3%へとわずかに低下しました。

同航空会社は、前年末より 20 機多い 1,358 機を保有し、年末を迎えました。

★会社 HP 引用(2024.01.23)要約

【DeepL 翻訳】

ユナイテッド航空のプレミアム・キャabinは前年比 16%の増収、ベーシック・エコノミーは前年比 20%の**大幅増収**となりました。

ユナイテッド航空 CEO スコット・カービー氏は、「予測不可能な逆風にもかかわらず、私たちは、誰も可能だと思わなかった野心的な目標を達成しました」と述べた。

(第 4 四半期)2023/10-12

- ・供給量は 2022 年比 14.7%増、営業収入は 136 億ドル(前年比 9.9%増)
- ・税引前利益は 8 億ドル、税引前利益率は 5.7%
- ・純利益 6 億ドル(調整後純利益 7 億ドル)

(通期) 2023/1-12

- ・純利益 26 億ドル(調整後純利益 33 億ドル)
- ・税引前利益 34 億ドル、税引前利益率 6.3%

- ・期末流動性は161億ドル
- ・年末時点の債務合計は293億ドル
(ハイライト)

・ユナイテッド航空の成長戦略「ユナイテッド・ネクスト」

2028年納入開始の航空機110機の追加発注を発表

- ・航空パイロット協会(ALPA)が代表するユナイテッド乗員が新しい4年契約を批准した
 - また、国際機械工・航空宇宙労組(IAM)とユナイテッド従業員は、5月に新しい2年契約を批准した
 - ・従業員の利益分配に年間6億8,100万ドル計上
 - ・ユナイテッドアビエイトアカデミーの第1期生パイロット卒業
 - ・SAF生産を支援するために約2億ドルの投資力を結集している
 - ・テキサス州ヒューストンに、グローバル・インフライト・トレーニング・センターをオープン
- 3,200万ドルかけたこの拡張プロジェクトにより、トレーニングスペースは2倍以上に拡大した

【2022/2023「1-12月期」運送実績】

UAL	4Q22	4Q23	%	2022	2023	%
Passengers (thousands) 乗客数	38242	41779	9.2	144300	164927	14.3
Available seat-miles (百万) 有効座席マイル	64294	73727	14.7	247858	291333	17.5
Revenue passenger-miles (百万) 有償旅客マイル	54758	60671	10.8	206791	244435	18.2

【2022/2023 年度決算対比】(1-12月)

《ユナイテッド航空》(単位:百万ドル)	4Q2022	4Q2023	%	2022	2023	%
営業収入合計 Total Operating Revenues	12400	13626	9.9	44955	53717	19.5
(旅客) Passenger	11202	12421	10.9	40032	49046	22.5
(貨物) Cargo	472	402	-14.8	2171	1495	-31.1
(その他) other	726	803	10.6	2752	3176	15.4
営業経費合計 Total Operating Expenses	11023	12628	14.6	42618	49506	16.2
(燃料等) Aircraft Fuel	3317	3315	-0.1	13113	12651	-3.5
(人件費等) Salaries and related costs	3000	3841	28.0	11466	14787	29.0
(整備等) Maintenance and outside repairs	600	664	10.7	2153	2746	27.1
(運航委託費) Regional capacity purchase	571	594		2299	2400	
(販売経費) Distribution expenses	434	571		1535	1977	
(減価償却) Depreciation and amortization	624	684		2456	2671	
(着陸料/賃料) Landing fees and other rent	657	793	20.7	2576	3076	19.4
(機材リース) Aircraft rent	59	46		252	197	
(特別課金) special charges	16	47		140	949	
(その他の支出) other operating expenses	1745	2073		6628	8062	
営業利益 Operating Income (loss)	1377	998	-27.5	2337	4211	80.2
運航外損益 Total nonoperating income (expense)	-247	-227		-1347	-824	
税引前損益 Income (loss) before income taxes	1130	771		990	3387	
(税) Income tax expense	287	171		253	769	
純利益 Net Income	843	600		737	2618	

〈UA 2023「1-12月期」決算の特徴〉

- ・通期の輸送実績は、供給増(ASM)を上回る利用増(RSM)となっている。
- ・燃油費は、供給増にも関わらず3.5%下落した。(着陸料/レンタル料は約20%増)
- ・結果、年度営業利益は前年比+80.2%、純利益は前年比+18億8100万ドルの26億1800万ドルに。

★2023年10月17日(会社HP引用)

【DeepL 翻訳】

第3四半期の総売上高は前年同期比12.5%増となり、過去最高の売上高を記録

税引前利益16億ドル、税引前利益率10.8%

当四半期、堅調で安定した国内需要、売上高は前年比9%増となり、第2四半期の業績を上回った。

当四半期の国内線収入は過去2番目だった。

国際線では、大西洋地域、太平洋地域とも利益は過去最高となった。

太平洋地域ではキャパシティが2019年第3四半期を24%下回ったが、収益は2019年の水準を上回った。

プレミアム需要は依然として高く、2019年の導入以来、収益が定員の伸びを上回っている

当四半期のプレミアム売上は前年比20%増となり、全旅客売上の半分以上を占めている。

ベーシック・エコノミーも人気の高い選択肢を提供し、当四半期の収益は前年比50%増となった。

(労働契約批准ボーナス)

2023年9月30日に終了した9カ月間において、エアライン操縦士協会(ALPA)、国際機械工・航空宇宙労組(IAM)及びその他の労働団体との合意に関連する費用8億1,400万ドルを計上した。

【決算対比】(1-9月)

《ユナイテッド航空》(単位:百万ドル)	2023/7-9	2022/7-9	2023/1-9	2022/1-9
営業収入合計 Total Operating Revenues	14484	12877	40091	32555
(旅客) Pax	13349	11653	36625	28830
(貨物) Cargo	333	498	1093	1699
(その他) other	802	726	2373	2026
営業経費合計 Total Operating Expenses	12745	11419	36878	31595
(燃料等) Aircraft Fuel	3342	3755	9336	9796
(人件費等) Salaries and related costs	3914	2843	10946	8466
営業損益 Operating Income/loss	1739	1458	3213	960
税引前損益 Income before income taxes	1485	1153	2616	-140
純損益 (Net Income/loss)	1137	942	2018	-106

〈UAL 2023年度(1-9月)決算の特徴〉

- ・前年比ASM(供給)は7-9月期+15%、1-9月期+21%で、RPM(需要)は+16%及び+19%だった。
- ・前年比、営業利益7-9月期+19%、1-9月期3.3倍、純損益は+21%及び黒字化(前年は赤字)だった。
- 純利益(1-9月期)20億1800万ドルは、2019年同期23億6800万ドルに肉薄している。
- 純損益(1-9月期)は、2020年-51億7200万ドル、2021年-13億1800万ドルの赤字だった。

【「1-9月期」運送実績】

UAL	2023/7-9	2022/7-9	2023/1-9	2022/1-9
Passengers (thousands) 乗客数	44381	38802	123148	106058
Available seat-miles (millions) 有効座席マイル	67691	59087	183764	152033
Revenue passenger-miles (millions) 有償旅客マイル	78348	67695	217606	183564

【「7-9月」路線別実績】

単位:百万ドル	旅客収入	(前年比)	ASM 前年比
国内線	7670	+8.7%	+10.9%
欧州	2931	+17.5%	+12.1%
太平洋	1245	+92.7%	+85.7%
南米	1091	+3.6%	+10.1%
中東・インド・アフリカ	412	+2.2%	+4.8%
国際線	5679	+23.6%	+22.0%

(1/2.5)

【デルタ】DAL

★デルタ航空2023年46億ドル利益計上(flightglobal.0112)

デルタ航空の2023年通期利益は前年比20%増の46億ドルで、第4四半期は好調な黒字を計上した。

昨年の売上高は、一時的項目を除く調整後ベースで547億ドルでした。

通期の調整後税引き前利益は2022年の27億ドルから2023年には52億ドルに増加し、純利益は2022年の13億ドルから昨年の46億ドルへと1年間で3倍以上に増加しました。

通期の業績には、第4四半期の調整後税引前利益11億ドルが含まれています。

《会社HP引用》12Jan2024

(2023年10-12月期の調整後決算)

- 営業収益は137億ドル、2022年12月期より11%増加

- 営業利益13億ドル、営業利益率9.7%

- 税引前利益11億ドル、税引前利益率7.8

- 1株当たり利益は1.28ドル

- 営業キャッシュフロー4億9900万ドル

(2023年通年の調整後決算)

- 営業収入は547億ドル、2022年通年を20%上回る

- 営業利益63億ドル、営業利益率11.6%

- 税引前利益52億ドル、税引前利益率9.5%

- 1株当たり利益は6.25ドル

- 営業キャッシュフロー72億ドル

- フリーキャッシュフロー20億ドル

- 調整後EBITDARに対する有利子負債は3.0倍、2022年末の5.0倍から低下

- 投下資本利益率は13.4%、2022年比で5ポイント上昇

(収益環境と見通し)

2023年の売上高は過去最高の547億ドルとなり、2022年を20%上回りました。

デルタ航空グレン・ハウエンスタイン社長は、次の通り述べました。

プレミアム航空券と航空券以外の収入が総収入の55%を占め、業界と差別化された業績を支えています。

国際線需要が好調、国内線環境も好転、3月期の調整後収入は前年を3~6%上回ると見込んでいます。

継続的な収入増の見通しにより、3月期のユニット収入は2023年比で横ばいから3%減を見込んでいます。

この見通しの中間値は、前年同期比で前四半期比2ポイントの改善を意味します。

3月期には、国際線の増加、旅行クレジット利用率の正常化、前年同期の競合他社の経営上の課題克服による反動が含まれています。

(2023年通年のコスト・パフォーマンス)

- 営業費用525億ドル、調整後営業費用483億ドル
- 調整後非燃料コストは358億ドル
- 非燃料CASMは前年比2.3%増
- 調整後燃料費は111億ドルで、前年同期比3%減
- 調整後燃料価格は前年比16%減、これには製油所利益(ガロン当たり10セント)が含まれる。
- 燃料効率(1,000ASM当たりガロン数)は14.4で、前年比で1.4%改善した。

注：CASM (Cost Per Available Seat Mile)

【2022/2023「1-12月期」運送実績】

DAL	4Q2022	4Q2023	FY2022	FY2023
Passenger load factor 旅客搭乗率	85%	84%	84%	85%
Passenger mile yield(cents) イールド	21.57	21.12	20.57	21.06
Available seat-miles(millions) 有効座席マイル	59506	68462	233226	272033
Revenue passenger-miles(millions) 有償旅客マイル	50476	57655	195480	232241

【2022/2019年間決算対比】(1-12月)

《デルタ航空》(単位：百万ドル)	4Q2022	4Q2023	FY2022	FY2023
営業収入合計 Total Operating Revenues	13435	14223	50582	58048
(旅客) Passenger	10889	12174	40218	48909
(貨物) Cargo	248	188	1050	723
(その他) other	2298	1861	9314	8416
営業経費合計 Total Operating Expenses	11965	12900	46921	52527
(燃料等) Fuel and related taxes	2849	2941	11482	11069
(人件費等) Salaries and related costs	3071	3769	11902	14607
(地方路線委託費) Regional carrier expense	504	537	2051	2200
(整備等) Maintenance and outside repairs	508	572	1982	2432
(販売経費) Commissions and other selling expenses	507	563	1891	2334
(委託サービス) Contracted services	920	1033	3345	4041
(減価償却) Depreciation and amortization	554	610	2107	2341
(着陸料/賃料) Landing fees and other rents	570	683	2181	2563
(旅客サービス) pax service	403	442	1453	1750
(利益分配) Profit sharing	272	290	563	1383
(機材リース) Aircraft rent	128	137	508	532
Pilot agreement and related expenses 乗員協約関係				864
(その他) other	371	569	1700	2239
営業利益 Operating Income	1470	1323	3661	5521
(支払利息) interest expense, net	-238	-207	-1029	-834
(営業外費用) Non-operating expense, net	-350	+952	-1747	+87
税引前利益 Income before income taxes	1120	2275	1914	5608
(税) income tax provision	-292	-238	-596	-999
純利益 Net income	828	2037	1318	4609

〈DL 2023「1-12月期」決算の特徴〉

- ・輸送実績は有効座マイル(ASM)+17%、有償座マイル(RSM)+19%と好調。
- ・**燃油費が落ち着き**、営業収入が15%、営業コストは+12%と、**大幅な利益**に直結している。
- ・路線別では**大西洋が大きく**、太平洋は出遅れている。

《地域別》

(百万ドル)	収入(前年比)	容量比率	前年比イールド
国内線	8769(+7%)	12%	-2%
大西洋	1900(+23%)	13%	+6%

ラテンアメリカ	952(+18%)	28%	-7%
太平洋	553(+45%)	44%	+1%

★2023年10月12日(会社HP引用)

【DeepL 翻訳】

デルタ航空は、第3四半期(9月期)として過去最高の売上高と2桁台の営業利益率を達成しました。堅調な需要は12月期も続いており、総収益は前年比9%から12%の伸びを見込んでいます。2023年通期で前年比20%の増収、税引き前利益は50億ドル超え(ほぼ倍増)を見込んでいます。

(国内需要は堅調)

内線旅客収入は対2022年比で6%増加、キャパシティは11%増加。

調査によると、大半の企業が12月期から2024年に向け出張は増加または横ばいを予想。

(国際線旅客収入は2022年比で35%増加)

全地域で過去最高益を記録。

大西洋横断便の収入は34%増加、ラテンアメリカの収入は20%増となりました。

(負債)

年初来で37億ドルの負債を返済し、通年では40億ドル以上の返済を見込んでいます。

(パイロット労働協約)

デルタ航空パイロットは、2023年1月から4年間の新しい労働協約を批准しました。

この協約には、初回の賃金18%引き上げも含まれています。

2023年3月期の批准時に7億3,500万ドルを支払う条項も含まれ、さらに、他の給付関連項目の調整として約1億3,000万ドルを計上しました。

【決算対比】(1-9月)

《デルタ航空》(単位:百万ドル)	2022/7-9	2023/7-9	2022/1-9	2023/1-9
営業収入合計 Total operating Revenues	13975	15488	37147	43825
(旅客) Pax	11464	13119	29329	36735
(貨物) Cargo	240	154	801	535
(その他) other	2271	2215	7017	6555
営業経費合計 Total Operating Expenses	12519	13504	34956	39626
(燃料等) Fuel expense	3318	2936	8633	8128
(人件費等) Salaries and related costs	3050	3760	8832	10838
営業利益 Operating Income	1456	1984	2191	4199
税引前利益 Income before taxes	962	1521	794	3333
純利益 Net income	695	1108	489	2572

〈DAL 2023年1-9月期決算の特徴〉

- ・前年比ASM(供給)は7-9月期+16%、1-9月期+17%で、RPM(需要)は+17%及び+20%だった。
- ・前年比、営業利益は7-9月期+36%、1-9月期+92%で、純利益は+59%及び約5.3倍だった。
- 純利益は前年同期(1-9月期)から営業外損益が5億3100万ドル改善されたのが大きい。
- 主な改善は投資(investment)6億5800万ドルと支払利息(interest)1億6400万ドルとなっている。
- ・2023年9月期は、純負債が2022年末から21億ドル減少、平均金利は4.5%。
- 2022年度は45億ドルを返済、年度末時点で純負債が223億ドル、平均金利は4.7%だった。

【「1-9月期」運送実績】

DAL	2022/7-9	2023/7-9	2022/1-9	2023/1-9
Available seat-miles(millions)有効座席マイル	63007	73226	173720	203571
Revenue passenger-miles(millions)有償旅客マイル	54786	64095	145004	174586
Passenger load factor 利用騰	87%	88%	83%	86%

(1/3.5)

【FedEx】

★フェデックス「決算9~11月期」営業益9%増(daily-cargo. 1221)

・通期売上高は下方修正

フェデックス・コーポレーションが発表した2024年5月期第2四半期(23年9~11月)の連結決算で、営業利益は前年同期比9.0%増の12億7600万ドル(約1825億円)だった。

通期の売上高は1桁台前半の減収見通しに下方修正している。

貨物不況が長引く中で、コスト削減が航空貨物部門とトラック部門の取扱量減少を補うことができなかった。

事業環境の悪化を受けて27年5月期までに費用を約60億ドル削減する計画「DRIVE」に取り組んでいる。

(第2四半期9-11月)

- ・売上高:222.0億ドル(予想:224.1億ドル)
- ・営業利益(調整後):14.2億ドル(予想:14.9億ドル)

(通期見通し)

- ・売上高：1桁台前半の減収（従来：横ばい）

★会社ホームページ引用

第2四半期の利益と利益率は減収にもかかわらず改善し、営業利益は9%増、調整後利益は17%増となった。これは主に、DRIVEプログラムの実行と、サービスと収益の質に引き続き注力したことによるものです。

ラジ・スプラマニウム社長兼最高経営責任者（CEO）

フェデックスは減収にもかかわらず、前例のない2四半期連続の営業利益の伸びと利益率の拡大を達成した。これは、不透明な需要環境を乗り切る中でフェデックスの変革が進展していることの明確な証拠です。

業界最速の地上ネットワークでピークシーズンを通してお客様に卓越したサービスを提供しながら、ネットワークの効率化を迅速に進めています。

グローバルネットワークの柔軟性、効率性、インテリジェント性を高める戦略に自信を持っています。

フェデックス グラウンドの営業利益は主にイールドの改善、コスト削減、取扱量の増加により増加した。

長距離トラック(line-haul)経費削減、全輸送行程(first & last-mile)の生産性向上により、荷物1個あたりコストは2%減少した。

(2023/2022 決算対比) 9-11 月期

単位：百万ドル	2023/9-11	2022/9-11	2023/6-11	2022/6-11
Total Revenue 総収入	22165	22814	43846	46056
Express segment	10254	10864	20339	21991
Ground segment	8639	8393	17059	16553
Freight segment	2360	2454	4651	5177
Services segment	65	68	137	138
Other & eliminations	847	1035	1660	2197
Total Operating Expenses 総支出	20889	21638	41085	43689
Salaries and employee benefits 人件費	7833	7792	15618	15651
Purchased transportation 購入輸送	5395	5665	10431	11432
Rentals	1138	1195	2289	2354
Depreciation and amortization 減価償却	1040	1046	2111	2070
Fuel 燃料	1328	1593	2429	3415
Maintenance and repairs	854	882	1678	1786
Business optimization & realignment costs 事業再生	145	36	250	74
Other	3156	3429	6279	6907
Total Operating Income 総営業利益	1276	1176	2761	2367
Express segment	137	341	342	515
Ground segment	900	598	2003	1202
Freight segment	487	440	968	1091
Corporate, other, and eliminations	-248	-203	-552	-531
Total Other (Expense) Income	-74	-117	-136	-154
Net Income 純利益	900	788	1976	1663

★会社ホームページ引用(6-8 月期)

・フェデックス グラウンドは優れた業績を上げ、フェデックス エクスプレスの収益改善や全社的な経費抑制と相まって、全体として予想を上回る業績を達成することができました。

・売上高9%減を営業費用の削減で補い、フェデックス エクスプレスの営業利益は18%増加しました。

・当四半期のコスト削減と変革への取り組みには、構造的な運航便数の削減、輸送量に見合った人員配置、航空機の駐機、米国における1日1便の配達への移行などが含まれます。

・当四半期のフェデックス グラウンドの営業利益は主にイールドの改善とコスト削減により59%増加しました。

・当四半期のフェデックス フレイトの営業利益は燃料サーチャージと出荷量の減少により26%減少しましたが、基本収率の改善により一部相殺されました。

・フェデックス フレイトは8月中に29ヶ所のターミナル閉鎖を完了しました。

・当四半期中に5億ドルの自社株買戻し(ASR)を完了した。

フェデックスは2024年度中にさらに15億ドルの普通株式の買戻しを予定しています。

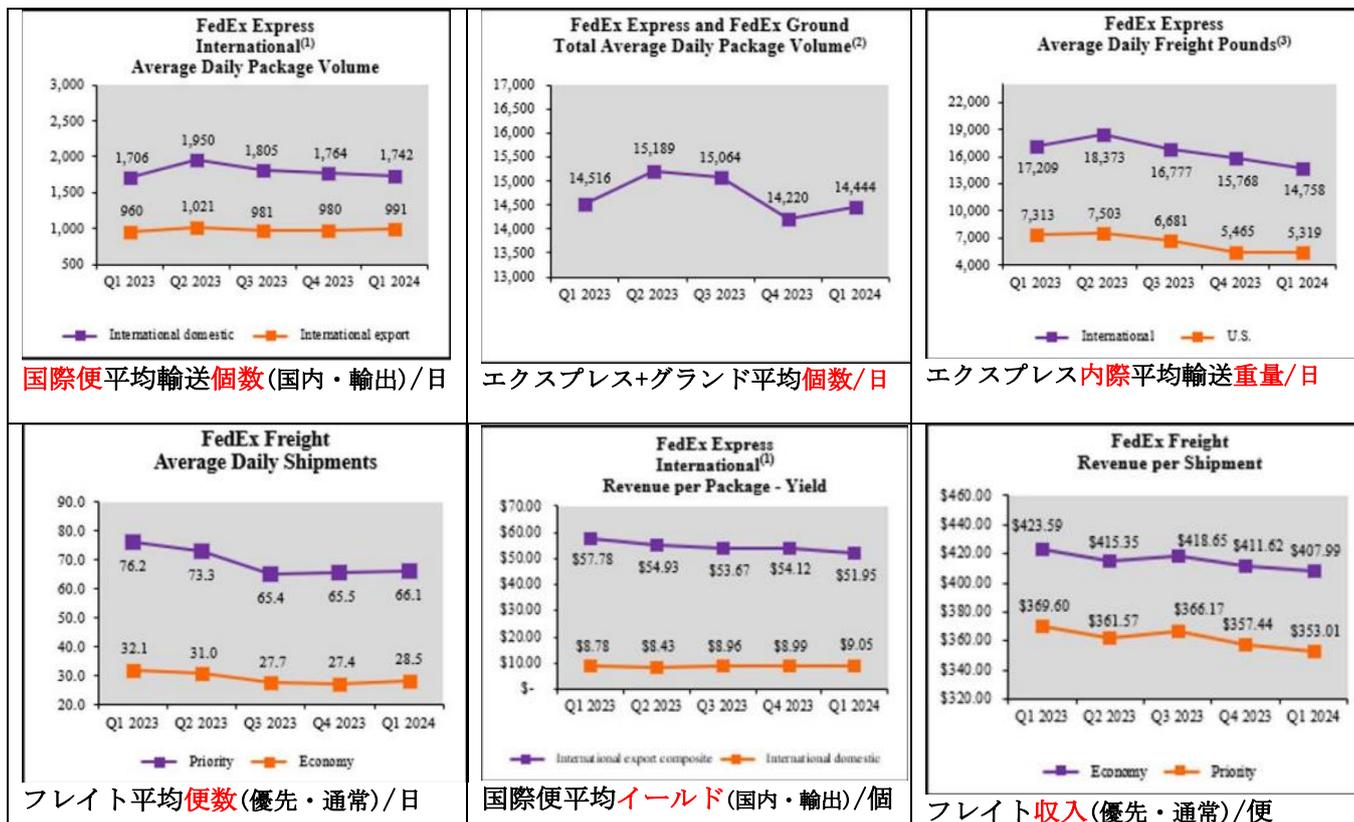
・2023年8月31日現在の手元現金は71億ドルです。

(2023/2022 決算対比) 6-8 月期

単位：百万ドル	2023	2022	Change(%)
Total Revenue 総収入	21681	23242	-7%

Express segment	10085	11127	-9
Ground segment	8420	8160	+3
Freight segment	2291	2723	-16
Services segment	72	70	+3
Other & eliminations	813	1162	
Total Operating Expenses 総支出	20196	22051	-8%
Salaries and employee benefits 人件費	7785	7859	-1
Purchased transportation 購入輸送	5036	5767	-13
Rentals	1151	1159	-1
Depreciation and amortization 減価償却	1071	1024	+5
Fuel 燃料	1101	1822	-40
Maintenance and repairs	824	904	-9
Business optimization & realignment costs 事業再生	105	38	+176
Other	3123	3478	-10
Total Operating Income 総営業利益	1485	1191	+25%
Express segment	205	174	-18
Ground segment	1103	694	+59
Freight segment	481	651	-26
Corporate, other, and eliminations	-304	-328	-7
Total Other (Expense) Income	-62	-37	+68
Net Income 純利益	1078	875	+23%

Other : Includes the FedEx Office, FedEx Logistics, and FedEx Dataworks operating segments.



(2/5.5)

【欧州系エアライン】

- ・ルフトハンザ純利益、前年比 1-9 月期+11 億 1200 万ユーロ
- ・IAG 最終利益、前年比 1-9 月期+19 億 5200 万ユーロ
- ・エールフランス KLM 純利益、前年比 1-9 月期+9 億 8100 万ユーロ

【ルフトハンザ】 LH

★「9 月期」決算発表 (会社 HP. 231102)抜粋

- ・特に (プレミアム) レジャーの需要が堅調に推移、グループ全航空会社が 2 桁の調整後 EBIT マージン
- ・短距離および長距離路線の業績は引き続き非常に好調
- ・固定費レバレッジの改善と業界全体のコストインフレの抑制に成功
- ・年金割引率を 4.4%に引き上げ、純年金債務のさらなる削減

- ・フィッチは投資適格格付け (BBB-) を開始
 - ・ルフトハンザ・グループの営業成績は前年度に比べ大幅に改善
 - ・前年度比の減少はパンデミック後の予約回復による例外的な資金流入が前年度になかったことを反映 (経営経過の概要)
 - ・旅客輸送能力はさらに拡大、前年を 17% 上回り、2019 年の危機以前水準と比較すると 82% に相当
 - ・ルフトハンザ・グループの売上高は前年比 18% 増 266 億 8,100 万ユーロ (前年: 225 億 3,900 万ユーロ)
 - ・調整後 EBIT は 143% 増の 22 億 8,000 万ユーロ (前年: 9 億 3,900 万ユーロ) となった;
 - ・調整後 EBIT 利益率は 8.5% (前年: 4.2%) となった。
- ◆ルフトハンザ・グループとパイロット組合 Vereinigung Cockpit 長期労働協約を締結
- ・新賃金協約は最短で 2026 年 12 月 31 日に終了可能で、少なくとも 18% の基本給増額が盛り込まれている;
 - ・パイロットの労働条件改善を盛り込んだ枠組み協約は、最短で 2027 年 12 月 31 日に終了できる。

【LH 「1-9 月期」 運送実績】

Lufthansa Group	2022	2023/1-9	2022	2023/7-9
Passengers carried(thousands) 乗客数	75720	93193	33338	38171
Available seat-kilometres(millions) 有効座席キロ	193342	225656	77693	87686
Revenue seat-kilometres(millions) 有償座席キロ	152857	188301	66917	75615
Passenger load factor 利用率	79.1%	83.4%	86.1%	86.2%

【「1-9 月期」 決算対比】 注: 1 ユーロ 158.04 円(2023.10.28)

LUFTHANSA Group (単位: 百万ユーロ)	2022	2023/1-9	2022	2023/7-9
Total revenue 総収入	22539	26681	9537	10275
Of which traffic revenue うち航空運送収入	18904	22583	8236	8832
Operating expenses 営業費用	23237	26571	9114	9561
Staff costs スタッフコスト	5276	6047		
Employees as of 30 September	107970	117187		
Depreciation 減価償却	1644	1657		
Fuel 燃油費	5613	5886		
Profit before income tax 税前営業利益	775	2020		
Net profit(loss) 純損益	484	1606	809	1192
EBIT(支払金前税引前利益)	851	2218	1118	1441
Adjusted EBITDA (減価償却前営業利益)	2583	3937	1678	2026

〈LH 2023 「1-9 月期」 決算の特徴〉

- ・前年比の旅客数は、7-9 月期で 14% 増、1-9 月期で 23% 増となっている。
- ・純損益は、前年比 1-9 月期+11 億 1200 万ユーロ、7-9 月期+3 億 8300 万ユーロで改善している。
- ・部門別では SWISS と MRO の利益性が際立っている。

2023/1-9	Lufthansa	SWISS	Austrian	Brussels	Eurowings	LOGISTICS	MRO
Operating income 収入	12614	4638	1855	1235	2103	2279	5140
Operating expenses 費用	11819	3962	1711	1176	2009	2128	4667
EBIT 支払金前税引前利益	748	673	143	59	147	187	480

(1/6. 5)

【IAG/BA】

★英 IAG 「2023 年 1~9 月期」 決算(daily-cargo. 1116)

営業益 3.9 倍、純利益 12.6 倍に

英国の航空大手インターナショナル・エアラインズ・グループ (IAG) の 2023 年 1~9 月期連結決算は、売上高が前年同期比 33.3% 増の 222 億 2900 万ユーロ (約 3 億 6233 万円)、営業利益が 3.9 倍の 30 億 500 万ユーロ、純利益が 12.6 倍の 21 億 5100 万ユーロと、大幅な増益となった。

売上高のうち旅客は 39.2% 増の 195 億 1700 万ユーロと大きく増収。対照的に、貨物は 28.8% 減だった。

★会社ホームページ引用 (231027)

注: IAG は、イベリア航空、エアリングス、プエリング、BA、レベルの持株会社

(ハイライト)

・当四半期の特別項目計上前営業利益は 17 億 4,500 万ユーロ (2022 年第 3 四半期: 12 億 1,600 万ユーロ)、営業利益率は 20.2% (2022 年第 3 四半期: 16.6%) と大幅な伸びを示した:

・夏期における欧州のホリデー・デスティネーションへの注力と、南大西洋および北大西洋全域での更なる投資により、キャパシティ (ASK) は前年比 17.9% 増 (2019 年第 3 四半期の 95.6%) となり、現在までに 20 機の航空機納入に支えられている。

・旅客単価は、レジャー旅行の需要が引き続き旺盛であったことから、前年同期比 2.2% 増 (対 2019 年比 24.6% 増) となった。

・当四半期の燃料費以外のユニットコストは、2022年第3四半期を3.5%下回った。これは、8月に発生した**英国(航空管制)NATSシステム停止**を含む事業全体における障害増加による影響が約1.0%ポイントあったにもかかわらずである。これらの追加コストの大半はブリティッシュ・エアウェイズにおけるものであった。

- ・当四半期の**燃料費**は前年同期比で**6.2%減少**した。
- ・バランスシートの継続的強化：2023年9月30日時点の総負債は、2023年6月30日時点に比べ24億ユーロ減少し、172億ユーロとなった。
- ・第4四半期の全体的な顧客予約は予想通り。
- ・2023年は、マージン、営業利益、バランスシートが力強く回復し、COVID-19以前のレベルのキャパシティに向かう年になると期待しています。

【IAG「1-9月期」運送実績】

IAGグループ	2022	2023/1-9	2022	2023/7-9
Passenger numbers(thousands) 乗客数	69504	87548	29535	33241
Available seat-kilometres(million) 有効座席キロ	192544	242293	74834	88259
Revenue pax-kilometres(million) 有償人キロ	156624	208079	65078	78494

【「1-9月期」決算対比】

《IAG》(単位：百万ユーロ)	2022	2023/1-9	2022	2023/7-9
Total Revenue 営業収入	16680	22229	7329	8646
Passenger revenue 旅客収入	14020	19517	6416	7733
TOTAL EXPENDITURE ON OPERATIONS 総支出	15879	19224	6111	6901
Employee costs 人件費	3417	3985	1250	1375
Depreciation, amortization and impairment 減価償却	1531	1508	516	525
Fuel, oil and emission costs 燃料および光熱費	4400	5579	1834	2029
Engineering and other aircraft costs 整備と機材コスト	1507	1862	579	654
Landing fees and en route charges 着陸料と航行援助費	1391	1762	544	658
Handling, catering & others グラハン・ケイタリング等	2143	2891	821	1095
Selling costs 販売経費	671	851	229	273
Currency differences 為替	180	13	113	17
OPERATING PROFIT 営業利益	801	3005	1218	1745
PROFIT AFTER TAX for the period 税引後利益	199	2151	853	1230

<IAG 2022「1-9月期」決算の特徴>

- ・前年比の**旅客数**は、7-9月期+12%、1-9月期+26%となっている。
- ・**最終利益**は、前年比1-9月期+19億5200万ユーロ、7-9月期+3億7700万ユーロと改善している。(1/7.5)

【エールフランス KLM】 AirFrance-KLM

★エールフランス KLM「2023年1~9月期」決算(daily-cargo.1116)

- ・EBITDA28%増、最終益5倍に
- エールフランス KLM (AFKL) の2023年1~9月期連結決算は、売上高が前年同期比17%増の226億1200万ユーロ(約3億6857万円)、EBITDAが28%増の36億700万ユーロ、純利益が約5倍の11億9000万ユーロだった。
- セグメント別に売上高を見ると、ネットワーク(フルサービスキャリア)が16.6%増の192億9400万ユーロ、貨物が30.9%減の18億3700万ユーロだった。

★会社ホームページ引用(231027)

【DeepL 翻訳】

グループの**キャパシティ**は2019年比**94%**、**ロードファクター**90%

- グループ売上高は87億ユーロ、前年比7%増
- **営業成績**は13億ユーロ、**営業利益率**は15.5%
- 営業フリーキャッシュフローは資本の取り崩しにより-4億ユーロ、手元現金は102億ユーロ
- **純負債**は2022年末に比べ**13億ユーロ減少**し、純負債/EBITDA レシオは1.1倍となった。
- 純利益は9億ユーロで、前年比5億ユーロの増益となり、資本の回復をさらに後押し
- ・四半期後の出来事
- エールフランス-KLM オランダ航空、再編後の**SAS ABの株式資本の19.9%**を上限とする非支配持分取得を決定。
- エールフランス-KLMは、**13億ユーロの準資本調達**に関する正式契約を締結。
(エールフランス-KLMグループCEOベンジャミン・スミス氏コメント要約)
- ・この業績は、**夏季の旺盛な需要**に牽引され、シーズン中の全チームの努力に感謝申し上げます。
- ・当四半期を通じて、持続可能な戦略的ロードマップを大きく前進させることができました。

エアバス A350 型 50 機の発注は、より燃費効率が高く、コスト効率が高く、静粛性の高い航空機を導入することで、長距離路線の機材更新を大幅に加速させるものです。

この新たな発注は、当社のサステナビリティ・ロードマップに対する数十億ドル規模の投資であり、これまでの新世代のワイドボディ機およびナローボディ機の発注に加え、当社の**持続可能な航空燃料に関するコミットメント**を補完するものです。

これは、2028 年までに次世代航空機 64%を達成するという私たちの野心を裏付けるものであり、2030 年までに**旅客キロ当たりの CO2 排出量を 30%削減**するという目標に向けた新たな大きな一歩です。

・ SAS の株式を 19.9%まで取得するための手続きを開始しました。

SAS に投資することで、北欧における我々の提案と接続性を強化するつもりです。

【AF/KLM 「1-9 月期」 運送実績】

AF/KLM グループ	2023/7-9	2023/1-9
Passagers (thousands) 旅客数	19836(+5%)	54366(+12%)
Capacity (ASKm) 有効座席キロ	71038(+5%)	199728(+10%)
Traffic (RPKm) 有償座席キロ	63523(+6%)	174807(+16%)

【AF/KLM 1-9 月期決算対比】

Income Statement 会計報告(百万ユーロ)	2022/7-9	2023/7-9	2022/1-9	2023/1-9
Revenues 総収入	8112	8660	19264	22612
Total operating expenses 総経費	7088	7316	18204	20842
Aircraft fuel 航空機燃料	2325	1918	5184	5360
Chartering costs 航空機賃貸料	92	167	285	410
Landing fees and en route charges 公租公課	488	539	1271	1458
Catering ケイタリング	206	225	525	618
Handling and other cost ハンドリング	468	499	1189	1393
Aircraft maintenance costs 整備費	524	585	1643	1831
Commercial and distribution costs 販売経費	257	268	641	785
Other external costs 他の外部費用	375	464	1077	1377
Salaries and related costs 人件費	1897	2146	5239	6311
Other income and expenses 他の収支	268	241	796	810
EBITDA	1677	1993	2829	3607
Amortization, depreciation and provisions 減価償却費	653	651	1769	1838
Income from current operations 営業利益	1024	1324	1060	1769
Other financial income and expenses その他の会計収支	-335	-168	-621	-156
Income taxes 税金	71	155	+208	176
Net income for the period 当期純利益	466	946	240	1221

〈AF-KLM 2022 「1-9 月期」 決算の特徴〉

- ・ 前年比の**総収入は、7-9 月+7%、1-9 月+17%**、総経費は、7-9 月+3%、1-9 月+14%
- ・ 結果、**営業利益**(1-9 月)は前年 10 億 6000 万ユーロから 17 億 6900 万ユーロと**大幅に増えた**。
- ・ 《AF vs KLM》

営業利益 2023 年(前年比)	AF group	KLM group
7-9 月期(百万ユーロ)	806(+236)	539(+96)
1-9 月期(百万ユーロ)	1107(+767)	668(-40)

- ・ KLM は**スキポール空港の制限**が響いている。
- ・ エールフランスは規模の効果で大幅に利益を増やしている。

(営業収入)

- ・ エールフランス：7-9 月 5374(+7.5%)、1-9 月 13966(+18.9%)
- ・ KLM：7-9 月 3425(+5.9%)、1-9 月 9058(+14.3%)

(1.5/9)

参考：エールフランス SAF 記事 (flightglobal.231026)

1 トン(1333 リットル)=2204 ポンド=米国 2000 ユーロ=31 万 8000 円 (フランス 1 トン 5000 ユーロ)

1 リットル=750 グラム(0.75 キロ)= SAF 米国製 238 円 (フランス 596 円)

(SAF 燃料 1 ポンド=米国 144 円、フランス 360 円)

注：灯油 1 リットル=116 円(経産省 231023)

(1/10)